

名古屋市立大学病院

病院長名	松川 則之
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車 3 番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

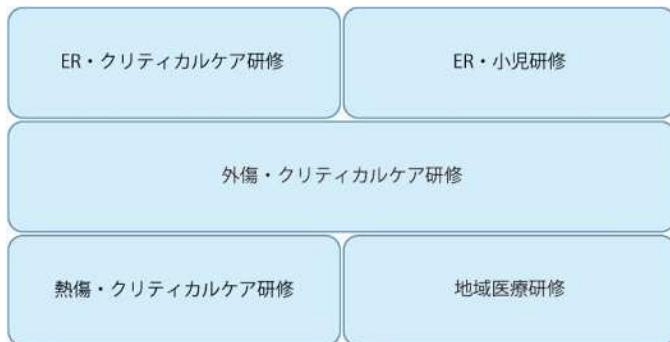
□ 病院の特徴

当院は 8 0 0 床の病床、3 2 の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受け、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。また、令和 3 年には東部・西部医療センター、令和 5 年にはみどり市民・みらい光生病院、令和 7 年にはリハビリテーション病院が名古屋市立大学の医学部附属病院になり、全国最大規模の大学病院群となりました。令和 8 年度には救急災害医療センターの開院を予定しており、より一層進化を続けております。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学救急科専門研修プログラムでは、ER 診療、外傷、集中治療、小児救急にそれぞれ重点を置いたコースを用意しています。さらに、研究と臨床を両立する大学院進学コースも可能です。専攻医の希望をくみ取り、将来を見据え必要な研修を柔軟に組み入れた個別の研修プログラムを提供します。

例) 外傷・集中治療を重点的に研修するパターン



<研修モデル>

例) 外傷・集中治療（クリティカルケア）を重点的に研修するパターン

専攻医 2 人ずつ（専攻医 A,B）のプログラム例。

施設類型	基幹	連携（地域医療）	連携	地域内基幹施設	地域外基幹施設
施設名	名古屋市立大学病院	東部医療センター	海南病院・江南厚生病院・あいち小児保健医療総合センター	中京病院	堺市立総合医療センター
研修内容	ER・クリティカルケア	ER・クリティカルケア・地域医療	ER・クリティカルケア	熱傷・クリティカルケア	外傷外科・Acute Care Surgery・クリティカルケア
1年目	B	B	A	A	A
2年目			B	B	A
3年目	A	A			B

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHP を参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター、海南病院、江南厚生病院、あいち小児保健医療総合センター、中京病院、堺市立総合医療センター

□ メッセージ

救急科 部長 服部友紀

名市大救急科は、皆さんがやりたい理想の救急医療を提供し、名古屋の中枢で活躍できる有能な人材を育てます。



救急医療は幅広く、ER 診療、内科系救急、外科系救急、外傷、集中治療、小児救急、教育、研究など網羅する分野は多岐にわたります。一人が全てを極めることは無理ですが、得意分野を身につけてそれをバックボーンとして幅広くあらゆる疾患に対応できるようになることを目指します。我々のプログラムは皆さんの個性と適性を大事にしたい理想の救急医へと羽ばたくことを応援します。令和 7 年には日本一の規模を誇る「救急災害医療センター」が開院します。名市大救急科には無限の可能性が広がっているのです。それに応える有能な人材として我々と共に成長していきましょう。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人 ※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与／月額	495,100 円 (勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数／月	4 回程度（診療科により異なる）
・当直料／回	24,000 円～34,000 円
・その他	年間有給休暇 20 日間、通勤手当、超過勤務手当、共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり
・応募連絡先	担当者 管理課 医療人連携・育成支援係 専攻医募集担当
電話 番 号	052-858-7527
E メール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp